

おめでとうございます 春の叙勲・褒章

瑞宝双光章

山田行雄さん

(75歳・柚木)



山田さんは相馬市出身。

昭和45年に市消防団に入団し、農業に従事しながら消防団活動に尽力。

平成30年1月～令和4年1月まで消防団長を務めるなど、退団するまでの約51年間、市の防火、防災に貢献しました。

(山田さんのコメント)

家族や先輩団員たちに支えられ、消防団活動が続けられました。現役団員には、これからも地域のために励んでほしいです。

旭日双光章

梶田浩二さん

(71歳・中村)



梶田さんは相馬市出身。

昭和62年から現在に至るまで36年に渡り市立学校および幼稚園の学校歯科医を務め、学校保健の増進に尽くしました。

また、相馬歯科医師会会長を務め、市の歯科医療にも尽力しました。

(梶田さんのコメント)

家族や地域の皆さんなど多くの方々に支えていただきました。受章は感無量です。今後も地域の医療のために貢献していきたいです。

交通事故を防ぐ 春の全国交通安全 運動出動式



交通事故防止の徹底を図る春の全国交通安全運動出動式は5月11日、市民会館前の駐車場で行われ、交通安全関係団体が参加しました。

式では、市交通対策協議会副会長である石橋浩人市議会議長が「関係団体が「一丸となって交通安全に努めましょう」とあいさつしました。

続いて、佐藤重義相馬地区交通指導隊長の出動申告の後、白バイやパトカーによるパレードとエイトタウン相馬での交通安全啓発活動が行われました。

7年ぶりの相馬市開催

第182回東北市長会総会

第182回東北市長会総会は5月11日、Nリゾート福島で開催され、東北6県の市長ら162人が参加しました。

議事では、各県提出特別決議案として、新型コロナウイルス感染症対策に関する決議や物価高騰等対策の強化に関する決議などが採択され、今後、国へ要請を行うことが決定されました。

総会終了後、市長らは防災備蓄倉庫や浜の駅松川浦などの視察を行いました。



地域の自衛官募集に尽力 自衛官募集相談員委嘱状交付式

自衛官募集相談員委嘱状交付式は5月15日、市役所で行われ4人に委嘱状が交付されました。

式では、立谷市長および岡本良貴自衛隊福島地方協力本部長から一人一人に委嘱状が手渡されました。

立谷市長は、「相談員の皆さんには、これまでの経験を生かして自衛隊を目指す若者の増加につなげてほしい」とあいさつしました。



「昭和のスター」の演奏を楽しむ まちなか祭り2023



昭和ロックごみ拾い in S OMA まちなか祭り2023は5月13日、クロスロード田町を会場に開催され、多くの市民らが訪れました。当日は、歩行者天国になった田町通り周辺のごみ拾いのあと、通り中央に開設されたステージで角野秀行さんらによる音楽ライブが行われ、市民らは、屋外の開放的な空間で「昭和のスター」による演奏を楽しみました。

相馬の食の魅力発信

もえあず米プロジェクト

もえあず米プロジェクト発表会は5月17日、市内成田地区の農地で開催され、タレントのもえのあずきさんが田植えを体験しました。

同プロジェクトは、もえのさんが田植えをした水田などで収穫する米を「もえあず米」として、道の駅さうまで販売や同施設のレストランで提供するもの。

もえのさんは、「相馬市に足を運びたいと思ってもらえるメニューを考えたい」と笑顔で話しました。



事故対策の決意を 新たに交通事故 死者ゼロ千日表彰



交通事故死者ゼロ千日表彰状伝達式は5月26日、市役所で行われました。

同表彰は、市内で交通事故死者0人の日が千日続いたことをたたえるもので、関根昌典相双地方交通対策協議会長から市交通対策協議会長である立谷市長に表彰状が手渡されました。

立谷市長は、「相馬警察署の指導の下で、市民の総力を挙げて交通事故対策に尽力した結果であり、今後もより一層事故対策に精力を注いでいく」と決意を述べました。

子育ての仲間を作ろう

アイアイ広場

アイアイ広場は5月11日、相馬愛育園で開催され、25組55人の親子らが参加しました。当日は、開講式の後、手遊びや動物が登場するパネルシアターを見て楽しんだほか、キャラクターをモチーフにした車のおもちゃを作りました。子どもたちは車のおもちゃで楽しそうに遊び、保護者は交流の輪が広がるなど、にぎやかに教室がスタートしました。



市の子育て施策などを審議

市子ども・子育て会議

市子ども・子育て会議は5月18日、市役所で開かれました。

会議に先立ち、立谷市長から市立学校PTA連絡協議会の米山真弘さんに代表して委嘱状が手渡されました。

委員からは、「放課後児童クラブで集団生活が難しい児童への対応について、専門的な支援を検討してほしい」などの意見が出されるなど、活発な議論が交わされました。



誘致企業との思い出を語る ハクゾウメディアカルテクノス株式会社



ハクゾウメディアカル株式会社の佐々木宏代表取締役会長と一橋俊司代表取締役社長は5月18日、市役所を訪れ、立谷市長と面談しました。

本面談は、ハクゾウメディアカル株式会社の設立70周年およびハクゾウメディアカルテクノス熊本工場設立30周年に合わせ、立谷市長との面談を同社記念誌へ掲載するため実施。当日は、佐々木会長らが初めて本市を訪れた時などの思い出を語り合いました。

被災地を視察 斉藤鉄夫国交大臣

5月28日、斉藤鉄夫国交交通大臣は本市を訪れ、内堀雅雄県知事と立谷市長の2人が出迎える中、伝承鎮魂祈念館などを視察しました。

斉藤大臣は、同館で東日本大震災前の風景や震災後の状況などを立谷市長から説明を受け、被災地のこれからについて内堀県知事らと意見を交わしました。

視察後は、東日本大震災慰霊碑（原釜地区）に花を手向け、津波の犠牲となった人たちの追悼したあと、市道大洲



松川線などを視察しました。

寄付ありがとう くる松クラブ



青年会議所のOBで構成されるくる松クラブによる寄付は5月30日、市役所で行われました。

訪れたのは荒井利昌会長、松本好彦副会長らの3人。

寄付は、同クラブが主催したチャリティーゴルフやオークションの益金から行われたものです。

寄付金を受け取った阿部勝弘副市長は「ありがとうございます。いただいた寄付金は、市の発展につながるように大切に使用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

華麗な技を披露 トランポリン大会

第43回トランポリン競技選手権大会は5月28日、スポーツアリーナそうま第二体育館で開催され、県内のトランポリンクラブに所属している選手ら58人が参加しました。

競技種目は個人競技（男女）とシンクロナイズド競技（男女）をそれぞれ競技技術の難度基準によりクラス分けされて行われ、出場した選手らは、真剣な表情で技を披露しました。



おいしいイチゴを食べよう

中央児童センターおやこ教室

中央児童センターおやこ教室「イチゴ狩り」は5月30日、和田観光いちご園で開催され、親子10組が参加しました。

同センターのひまわりクラブ、さくらクラブ、たんぽぽクラブの会員を対象に、親子の触れ合いや保護者同士の交流を図ることを目的に開催。参加した親子らは、甘酸っぱい香りの漂うハウスの中でイチゴ狩りを楽しみ、相馬のイチゴのおいしさを満喫していました。



今季初水揚げのホツキ貝

相馬双葉漁協



相馬双葉漁業協同組合によるホツキ貝の水揚げは6月1日、磯部漁港で行われました。今季初の出漁で、3隻の漁船が出港し、約1、200キログラムのホツキ貝を水揚げ。放射性物質検査の結果、検出下限値未満であり、水揚げされたホツキ貝は磯部水産加工施設で加工され、県内外に流通しました。

同漁は、来年1月末まで週2回程度行われる予定です。

「福とら」の魅力発信について協議

「福とら」活用推進協議会総会

「福とら」活用推進協議会総会は6月1日、千客万来館で開かれ、相馬双葉漁業協同組合をはじめ関係者約20人が参加しました。

同協議会は、近年漁獲量が増えている相双沖の天然トラフグを「福とら」と命名し、ブランド魚として広く県内外にPRすることを目的に設立。当日は、今年度の事業計画などが協議され、「福とら」のPRに向けた関係団体間の団結が図られていました。



百歳おめでとう

川島ヨノさん



百歳を迎えた川島ヨノさん（塚部）への賀寿贈呈式は6月1日、自宅で行われ、川島さんに記念品などが贈呈されました。

贈呈されたのは、県より賀寿状と会津塗木杯、市より賀寿状、金屏風型の置き時計、祝い金。

当日は、同席した家族や親戚が、川島さんの長寿を祝いました。

川島さんの長寿の秘訣は、編み物をして手を動かすことや日々の出来事を日記につけて頭を使うことです。

マイナンバーカードの健康保険証利用登録などを支援 申込み支援窓口

申込み支援窓口は6月1日、市役所1階御仕法通りに開設されました。

同窓口は、マイナンバーカードをすでに取得済みで、健康保険証の利用申し込みをしていない方を対象に、登録手続きの支援を目的に設置。

市職員が常駐し、健康保険証の利用登録のほか、公金受取口座の登録支援を行っています。

※平日8時30分～17時に予約不要で利用できます。



鳥取・島根と相馬をつなぐ

花いっぱいプロジェクト

花いっぱいプロジェクトは6月5日、桜丘小学校で開催され、4年生児童94人を対象に行われました。

同プロジェクトは、シンガーソングライターhaccoさんの出身地の鳥取県と隣県の島根県の花の種を届け、交流を築くことを目的に実施。

当日は、haccoさんの歌が披露されたほか、島根県江津市桜江小学校で集められた花の種が贈呈されました。



健康で豊かな心と体を作る

第42回市民歩け歩け大会



第42回市民歩け歩け大会は6月3日、尾浜こども公園をスタート地点に開催され、市内外から参加した約100人がウォーキングを楽しみました。

参加者は、原釜尾浜防災緑地や浜の駅松川浦など市内の東日本大震災復興関連施設を経由しながら、約7キロメートルを歩きました。

当日は、沿岸部の復興の様子を目にしながら、初夏の心地よい風を受けてコースを巡りました。

全身を使って歩く 中央公民館

「ノルディックウォーキング講座」

中央公民館「ノルディックウォーキング講座」は6月4日、同公民館などで開催され、市民ら延べ17人が参加しました。

当日は、講師の嶺岸昭さんのアドバイスを受けながら、中村城跡から宇多川沿いを巡る約5キロメートルのコースを歩きました。

参加した人たちは、澄み渡った青空の下、深緑を感じながら汗を流しました。



相馬民謡の後継者を育成子ども民謡教室開校式



市内の小・中学生を対象とした子ども民謡教室の開校式は6月8日、市民会館で開催され、9人の児童・生徒が参加しました。

教室は、相馬民謡の継承を目的に、相馬民謡同好会の協力を得て開かれており、今年で7年目。

今年の教室生徒数は、新規参加者4人と特別参加の高校生を加えた13人で、開校式のあと、子どもたちは熱心に講師の指導を受けていました。

大雨で被害を受けた海南市へ

職員とトラックを派遣

6月8日、6月1日～3日にかけての梅雨前線による大雨で大きな被害を受けた海南市(和歌山県)に職員とトラックを派遣するため、市役所から職員3人が出発しました。現地でも多数の建物浸水などの被害が発生していることから、相馬市が職員とトラックの派遣を決定。

YouTube 相馬市
チャンネルからの
お知らせ

トピックスの一部は、市公式 YouTube チャンネルで動画を公開しています。下記の QR コードからアクセスし、ご覧ください。

▽まちなか祭



▽もえあず米プロジェクト



▽ホッキ貝初水揚げ

